

愛知から「辺野古・新基地建設に反対する声明」

いま、辺野古に新しい基地を建設しようとする動きが安倍内閣と仲井真知事のもとですすめられています。しかし、辺野古に新しい基地を建設すればどうなるでしょうか。豊かで美しいこの地域の自然と文化は一瞬にして姿を消します。その代わりに米軍基地ができます。米兵や軍属により繰り返される殺人や強姦、強盗などの「犯罪」、夜中ですら 100 デンベル（電車が通る時のガード下の音と同じくらいの大きさ）を超える騒音、2004 年の沖縄国際大学への墜落事故に代表される「墜落事故」、米軍が原因の「環境汚染」など、いままでも沖縄の住民はあらゆる種類の「基地被害」に苦しめられてきました。

国の基本法である憲法の視点からすれば、沖縄の住民は、米軍人などの犯罪、墜落事故により、「戦争や軍隊によって自己の生命を奪われない権利あるいは生命の危険にさらされない権利」である「平和的生存権」（憲法前文）、「個人の尊厳」「幸福追求権」（憲法 13 条）を奪われてきました。米軍による「騒音」や「環境汚染」のため、「良好な環境を享受し、これを支配する権利」である「環境権」（憲法 13 条、25 条）も奪われてきました。辺野古に新しい基地を建設することで、沖縄の住民、とりわけ辺野古周辺の住民はますます「基地被害」の苦しみを負わされることとなります。辺野古への新基地建設による動物や環境破壊の影響も深刻であり、絶滅危惧種に指定されている「ジュゴン」は絶滅する可能性が高く、辺野古・大浦湾のさまざまなサンゴも消滅します。

辺野古への新基地建設は「抑止力」のために必要だという意見もあります。しかしアメリカでも、「国防予算の削減」や沖縄にいる米軍が攻撃対象になるという「軍事上の理由」から、沖縄からの海兵隊の撤退という主張が有力政治家からなされることも少なくありません。そもそも在日米軍基地は日本の防衛と関係がありません。「在日米軍は日本を守るためにいるわけではない」との発言を米国政府の高官はたびたび繰り返しています。実際、イラク戦争の際、沖縄にいるアメリカの海兵隊が真っ先にイラクの戦場に送られた事実が示すように、沖縄にアメリカの海兵隊がいるのは「日本防衛」のためでなく、アメリカの戦争のための出撃拠点、後方支援のためです。「抑止力」どころか、アメリカの仮想敵からたびたび核攻撃の対象として沖縄が名指しで挙げられるなど、沖縄に米軍がいることでかえって攻撃対象となり、沖縄住民の「平和的生存権」が脅かされてきたのです。

辺野古に新しい基地を作れば、アメリカ軍の出撃基地、後方支援基地としての沖縄の役割はますます強化されます。しかしそのために、長い年月をかけて育まれてきた、豊かで美しい辺野古周辺の自然と文化を破壊する政治を私たちは認めることはできません。

「辺野古への新基地建設に反対する市民に対して、第一次安倍内閣は海上自衛隊を派遣し、第二次安倍内閣は刑事特別法による逮捕、起訴を行おうとしています。豊かで美しい自然と文化を有する「ふるさと」を守ろうとする周辺住民の真摯な行動を、軍艦派遣や刑事罰といった脅しにより断念させる行為は、「民主主義国家」ではあってはならないことです。「豊かで美しい自然と文化を損なうことなく、次世代に手渡すためにも、私たちは辺野古の新基地建設に断固反対し、沖縄の人々による平和と尊厳、人権と環境保護のための取り組みを支持します。

2014 年 3 月 28 日

呼びかけ人（敬称略）

愛敬浩二（名古屋大学教授）・安藤直彦（農学博士）・浅井薫（詩人）・阿部太郎（名古屋学院大学准教授）・飯島滋明（名古屋学院大学准教授）・池住義憲（立教大学大学院特任教授）・岩崎建弥（元新聞記者）・牛島達夫（名古屋工業大学准教授）・内河惠一（弁護士）・小野万里子（弁護士）・籠橋隆明（弁護士）・久保田明（演出家）・栗木英章（劇作家）・阪井芳貴（名古屋市立大学大学院教授）・榊原千鶴（名古屋大学准教授）・高須道夫（名古屋芸術大学名誉教授）・高森裕司（弁護士）・中谷雄二（弁護士）・仲松大樹（弁護士）・野間美喜子（弁護士）・浜島将周（弁護士）・比嘉俊太郎（愛知工業大学名誉教授）・樋口浩造（愛知県立大学教授）・本 秀紀（名古屋大学大学院教授）・六柳庵 やそ（邦楽家）

賛同人（敬称略）

磯貝治良（作家）・磯部作（日本福祉大学教授）・岩月浩二（弁護士）・大川浩正（医師 愛知県保険医協会幹事）・大塚英二（愛知県立大学教授）・大西五郎（ジャーナリスト）・岡村晴美（弁護士）・垣内伸彦（愛知大学名誉教授）・柿沼肇（日本福祉大学名誉教授）・加藤恒男（元至学館大学教員）・加藤治子（名城大学非常勤講師）・川口洋誉（愛知工業大学講師）・川畑博昭（愛知県立大学准教授）・木村初男（名古屋大学名誉教授）・黒田光太郎（名城大学教授）・交野正芳（愛知大学名誉教授）・小島寛司（弁護士）・小島高志（弁護士）・小林哲也（弁護士）・小林 武（沖縄大学客員教授）・酒井健次（元鈴鹿医療科学技術大学教授）

坂本 功（名古屋工業大学名誉教授）・佐竹眞明（名城大学非常勤講師）・猿田正機（中京大学教授）

沢田昭二（名古屋大学名誉教授（物理学） 広島の被爆者）・塩之谷 香（医師）・清水昭信（名古屋市立大学システム自然科学研究科客員教授）・Joseph Essertier（名古屋工業大学准教授）・関口威人（ジャーナリスト）・高倍鉄子（名古屋大学名誉教授、名城大学特任教授）・田川光照（愛知大学教授）・竹内 平（弁護士）・田巻紘子（弁護士）・柘植 新（名古屋大学名誉教授）・坪井秀人（名古屋大学大学院教授）・鳥居達生（名古屋大学名誉教授）・中崎温子（愛知大学地域政策学部教授）・中須賀徳行（岐阜大学名誉教授）・丹生 潔（名古屋大学名誉教授）・野崎一洋（名古屋大学名誉教授）・長谷川一裕（弁護士）・早川純午（愛知民医連会長、医療法人名南会副理事長）・平川宗信（中京大学教授・名古屋大学名誉教授）・福岡猛志（日本福祉大学名誉教授）・藤木秀朗（名古屋大学教授）・星野 香（元名古屋大学教授）・三浦陽一（中京大学教授）・三田昌彦（名古屋大学助教）・森田夢見（弁護士）・矢崎暁子（弁護士）・山本かほり（愛知県立大学准教授）・吉浦勝正（弁護士）・若松伸哉（愛知県立大学准教授）・上川通夫（愛知県立大学教授）・堀田慎一郎（名古屋大学助教）・廣瀬憲雄（愛知大学准教授）・水野智之（中部大学准教授）